

## 第 3 回委員会での主な意見

対象	主な意見
基本計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「<u>湿地</u>」について P17 の構成要素以外でも記述があっても良いのではないかと考える。</li> <li>・利活用計画の中で、多く利用している<u>学校団体をターゲットとして追記してはどうか。</u></li> <li>・P6 や 17 の「<u>地域</u>」は、<u>地域住民や学校団体、企業等の誰を想定しているのか分かる様に記載してはどうか。</u></li> <li>・P16 の<u>自然環境保全重点区域</u>は、「<u>水と緑のゾーン</u>」と「<u>自然保全ゾーン</u>」の統合により、<u>範囲を見直す必要があるのではないかと考える。</u></li> <li>・生物多様性を保全するため、<u>外来種の対策や在来種の保全等の具体的な取組の方針を基本計画内で追記できると良い。</u></li> <li>・<u>環境教育の場として学校団体に認知してもらうことも重要であり、認知が広まることで旅行会社等にとって学校団体と協調しやすくなるのではないかと考える。</u></li> <li>・<u>里地里山の景観は、昔の景観を復活させるのか、今の景観を維持していくのかを考えることも重要である。</u></li> </ul>
今後の整備や取組の方向性（案）について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>シカの防護柵の設置は生物多様性の保全に非常に有効であり、小規模なものを複数設置する方法等もあるので、本公園での導入も検討していただきたい。</u></li> <li>・<u>市民活動団体の活動を維持するために、会員を育成するようなプログラムの実施や、しあわせの村を拠点にするシルバーカレッジの連携ができると良いのではないかと考える。</u></li> <li>・<u>シルバーカレッジの卒業生で調査研究の活動フィールドを求めている方もいる。</u></li> <li>・<u>市民活動団体等のボランティア団体の高齢化は、本公園だけの課題ではないが、本公園が若い人を中心とした新しい市民活動団体が活躍したいと思える場にできると良い。</u></li> <li>・<u>プログラムの受け入れスタッフの増加や、専門的なプログラムができるスタッフの配置などができると良い。</u></li> <li>・<u>他の国営公園や国立公園でも専門的なスタッフの配置は同様の課題かと考える。</u></li> <li>・<u>大学生にガイドをしてもらう等の人材確保が検討できると良い。</u></li> <li>・<u>貴重な生きものを呼び込むために植物の植栽を行う際には、地域の元々植生していた植物を活用する等の発想があると、基本計画にも合致するのではないかと考える。また、そのような取組を実施していることをアピールすることも重要である。</u></li> <li>・<u>自然環境に関して、ローコストで藍那らしい体験ができると良く、冬季に水場があることが生物多様性に寄与しているのではないかと考えるので、放棄田の湛水などにも取り組むことも考えられる。</u></li> <li>・<u>文化的な取り組みとして、藍那地域特有の物品をプログラムで活用することがあっても良いのではないかと考える。</u></li> <li>・<u>地域の食文化が体験できるプログラムがあれば、幅広い年齢層を呼び込めるのではないかと考える。</u></li> </ul>